

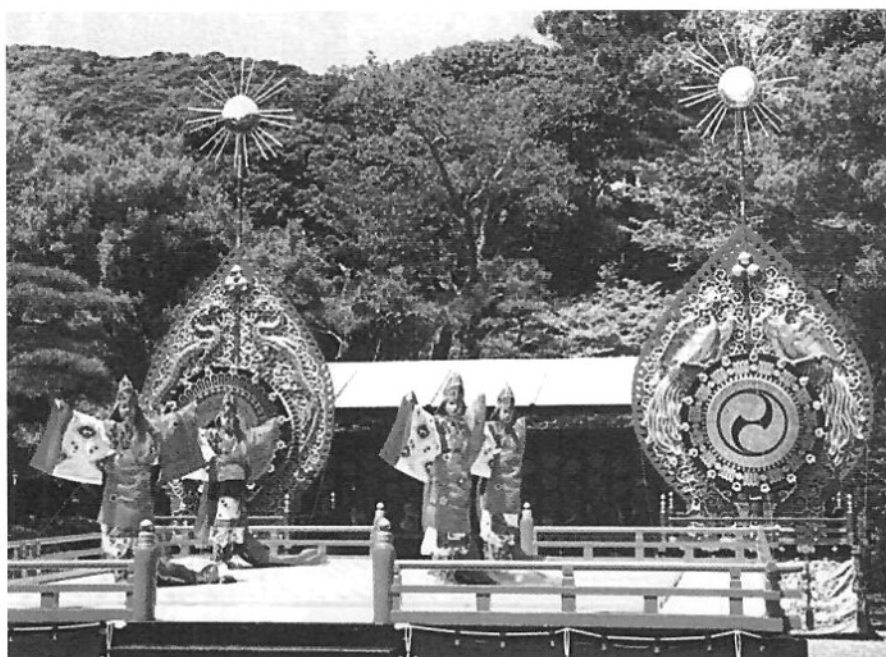
# 雅楽だより

## 《目次》

- |               |      |   |                    |    |
|---------------|------|---|--------------------|----|
| ●伊勢神宮の雅楽      | 森井富男 | 1 | ●平安時代作成の琵琶楽譜を補修    | 10 |
| ●雅楽いろいろQ & A⑦ | 芝 祐靖 | 4 | ●情報欄               | 10 |
| ●世界の箏篋の仲間たち   | 中村仁美 | 5 | ●『舞楽面陵王』～舞楽面の特別講座～ | 12 |
| ●箏篋 蘆舌ヨシと高速道路 |      | 7 |                    |    |

第35号  
発行

2013(平成25)年10月  
雅楽協議会



春の神楽祭 賀殿 (2012(平成24)年4月)



倭舞 明治時代の始め伊勢神宮に神楽殿ができた時より舞われている

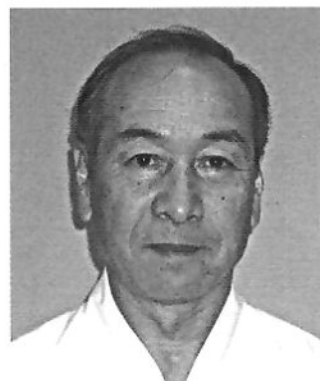
ね、今年第62回の遷宮を迎えた伊勢神宮を訪ね、神宮司應奉賽部 森井富男神宮楽長より

雅楽のお話をお伺いしました。

## 伊勢神宮の雅楽

お話し 神宮楽長

森井 富男氏



神宮楽長 森井富男氏

…お忙しい中、時間を割いていただきありがとうございます。伊勢神宮は、専属の楽師さんがおられると伺っているので、どのような歴史をお持ちなのかなど、この機会にいろいろとお教えいただければと思います。どうかよろしくお願いいたします。

### 神宮の雅楽の歴史

…まず、伊勢神宮の雅楽の歴史について教えてくださいませんか。

「伊勢神宮の雅楽の歴史に限って話させていただきますと、明治5年に内宮に御祈禱所を作ることになりまして、桑名で雅楽を演奏されていた方の中から4名と、神宮の神職から8名が選ばれて、計12名が伶人となりました。

それ以前は、神宮での祭典で雅楽が用いられることは無かったと聞いています。

そして明治5年10月20日から翌年明治6年1月20日までの3ヶ月間、この12名が雅楽の修行のために京都の宮内庁雅楽局へ派遣されました。そして3ヶ月間の修行を終えて神宮に帰ってこられて、明治6年2月1日には、神楽殿の御祈禱所で演奏しています。

この明治6年2月1日が、神宮の雅楽の始まりといつてよいと思います。

明治8年には、外宮にも御祈禱所ができました。そして雅楽の演奏を始めております。内宮と外宮の神楽殿での演奏ですので、12名の伶人は足りませんから増やしたと思います。

また、明治の始めの頃の記録には万歳楽な

どの舞楽の記録も残されていますので、舞楽も当初から演奏されています。舞楽装束や管方装束は、外部から寄付を頂いたようです。」

### 神宮の楽師

伊勢神宮の楽師の方は何名ほどですか。

「伊勢神宮の楽師の人数は、現在31名です。内訳は楽長1名、副楽長2名、楽師20名、楽師補5名、楽生3名で、だいたい30人前後で欠員が出ると募集をします。

昭和46年頃までは中学卒業で募集していましたが、昭和47年からは高校卒業で募集しています。募集しますと3〜4人の応募があります。

明治時代の頃の採用も、雅楽の伶人は一般から採っていました。

採用されますと、7年間は雅楽の修行の間で、予科が2級から1級、本科は5級から1級まででありまして合格しますと楽師になれる資格が得られます。

その間に管（笙、篳篥、笛のどれか）、絃（琵琶、箏のどちらか）、舞（左舞、右舞のどちらか）、打ち物、そして歌を学びます。ですから宮内庁楽部と同じで管・絃・舞・打ち物・歌を身に付けます。それぞれ先輩の楽師が教えます。また舞は、左舞、右舞、人長舞などのほか、神宮の舞いである倭舞、萬代舞なども学びます。」

### 神宮の舞 倭舞など

倭舞などは、神宮でのみ舞われる舞ですね。

「はい、そうです。伊勢神宮には、伊勢神宮のみで舞われる舞がいくつかあります。

明治の時代、神楽殿ができた時から神宮の舞として舞われているのが倭舞です。1ページの写真にありますように伊勢神宮では、舞女が舞います。



萬代舞 第59回遷宮の時に作られた舞

その他に遷宮の年に作られた舞いがございます。昭和28年の遷宮の時に作られた萬代舞（舞女4人舞）、昭和48年の遷宮では、慶殿（男4人舞）、平成5年の遷宮では、栄久舞（舞女4人舞）、常世舞（舞女2人舞）、幽寂の舞

（男1人舞）が新しく作られました。」

### 舞女

倭舞を舞うのは巫女さんですか？

「神宮では巫女はおりませんので、舞女と申します。舞女は高卒の18歳から23歳までの5年間で、35〜37名おります。いわゆる巫女さんがおられませんから、舞女が授与所でお札やお守りを授与したり、今日は神楽番、明日は受付番、次の日は外宮番など、その日その日でスケジュールが決まっておりますので交代で行ないます。

萬代舞などの女性の舞いも楽師が教えます。ですから楽師は、女性が舞います倭舞、萬代舞なども習います。」

### 年間の演奏

#### 祭典や神楽祭などでの演奏

…雅楽の演奏は多いのではないかと思います。…雅楽の演奏は、まず御本殿での祭典のご奉仕がございます。神宮には年間多くの祭典が有り、祭典には神楽歌を奏します。明治6年3月より、祭典楽は唐楽で行なわれていましたが、昭和24年から神楽歌に変更されました。

10月の神嘗祭には宮内庁から楽師が来られて御神楽を奉仕されておりましたが、昭和7年からは神宮楽師が奉仕するようになりました。それ以後宮内庁楽部からお見えになるのは20年に一回の御遷宮の御神楽奉仕のみとなりました。



秋の神楽祭 仁和楽 (2012 (平成24)年)

これらの祭典での御神楽のご奉仕のほか、毎年「二月十一日」の御饗で内宮神楽殿の隣の五丈殿で東遊を奏します。

この御祭での楽は、明治8年に始まり左方、右方の舞楽2曲をしていましたが、昭和36年に東遊に変わり今に至っています。

また毎年4月と9月の神楽祭で、内宮神苑に舞台を組みまして3日間午前と午後には舞楽を公開いたします。毎年「雅楽だより」にも演奏曲目を掲載させていただいていますが、今年の春は振鈴、遷城楽(左)、胡蝶、長慶子を演奏しました。ちなみに古い資料ですが、昭和24年は、

4月1日目 外宮 春庭楽 納曾利  
内宮 打球楽 貴徳

2日目 外宮 陵王 延喜楽  
内宮 春庭楽 納曾利

3日目 外宮 打球楽 貴徳  
内宮 陵王 延喜楽

の演目で演奏したと記録されています。この神楽祭の他に、秋の観月会が外宮の勾玉池でございませう。ここでは管絃と舞楽を演奏します。」

**内宮と外宮の神楽殿・御祈禱所で**

**人長舞、陵王、納曾利を**

「このような伊勢神宮の祭典での雅楽の演奏のほかに、内宮と外宮で祈禱での奏楽がございませう。

ご祈禱の内容によって演奏する曲目が異なりますが全てのご祈禱に神宮の舞である倭舞は奏します。また曲目の多いご祈禱では、倭舞、人長舞、そしてさらに陵王、納曾利、胡蝶から2曲を舞います。ですから倭舞、人長舞、陵王、納曾利と4曲を舞うこともあります。

御祈禱所での管方は、鞆鼓、太鼓、篳篥、笛の5名で、1管通りでの演奏です。倭舞や人長舞では、鞆鼓、太鼓の人が歌に、笙の人が和琴を弾きます。

御祈禱所は、内宮、外宮とも朝8時30分から夕方4時30分まで、1日10回以上あります。時間的にも16回が限度ですね。ちなみに昨年のご祈禱は、内宮で4192回、外宮で2039回でした。そのうち内宮で陵王を舞

つたのは389回、納曾利は477回です。毎日1〜2回は舞っていることになりました。ですから人長舞の装束は年に3回新調しますし、陵王と納曾利の装束は2年に1回新調します。」

人長舞の装束を年に3回も新調するので、舞う回数がいかに多いかということですね。



蘭陵王 外宮 勾玉池

**全国から集まる**

**神宮での雅楽の講習**

…神宮では一般の方でも参加できる雅楽の講習会を毎年開催しているのですね。

「神宮では、毎年6月の5日間にわたり、

笙、篳篥、笛・祭祀舞の講習会を開催しています。講師は、神宮の楽師があたりませう。今年も全国から初心者の方も含めて約160名の方が参加されました。

伊勢神宮での講習で、ある程度吹ける様になり上級をもちうと、神主の方を対象にした神社本庁での雅楽講習を受けることができまして、神社本庁の講習を受けて上手になると指導者の免状がもらえます。」

**遷宮での雅楽**

**宮内庁楽部より20年に一度**

…遷宮で雅楽の演奏はどのようなものがあるのですか。

「宮内庁楽部からは20年に一度、神宮に連れて御神楽の演奏をなされます。御神楽の演奏は、遷御(内宮10月2日、外宮10月5日)の翌日、内宮では10月3日の夜、外宮では10月6日の夜に宮内庁式部職楽部の楽師の方12名が、御神楽及び秘曲を奉納になります。勅使・神宮・祭主以下が四丈殿内の座に着き、庭燎の明りがゆれる中、深夜まで御神楽が奏でられます。」

御遷宮の準備などでお忙しい中、いろいろとお教えいただきありがとうございます。

今回の取材は神宮司廳広報室広報課爪橋正樹様にもいろいろとお世話になりました。ありがとうございました。

(鈴木治夫)



# 雅楽いろいろQ&A ⑦

## 息継ぎの箇所 芝 祐靖

Q17

お教え戴く先生によって、曲の中で「息継ぎ」(ブレス)する箇所が微妙に異なる場合があります。息継ぎする箇所の原則のようなものはあるのでしょうか。

A17

ご質問の方が横笛奏者と思ひまして、お答えいたします。・・・と申しますのは、雅楽の場合、基本的に他管の奏法に口を出すことは禁じられていますので、筆者(横笛奏者)が筆楽の息継ぎ(ブレス)については述べる事が出来ません。お許しください。

さて、息継ぎについて平調・越天楽を例としました。

《参考譜》①参照

先達の話によりますと、江戸時代の吹き方は、吹き出しから句切りの○までを一息で吹いていたということです。吹き始めの一句目と二句目は2小節で区切られているので、何とか一息で吹けますが、三句目は4小節間の

《参考譜》①

・は小節点。カナ譜の中にある○は句切点(ブレス)です。

ト ラ ロ ル ロ タ ア ロ ラ ア ト ラ ト ラ イ タ ロ ラ

ブレスですので、とても一息では到底吹き切れません。

徳川時代の「早四拍子」のテンポはかなり早かったのではと想像します。

《参考譜》②参照

明治時代になると、新政府の中に置かれた「雅楽局」によって、雅楽は大改革が命じられました。演奏法もその一つです。雅楽局の方針は「雅楽演奏は、皇室儀式行事に相応しく荘厳な響きでなければならぬ」とされ、江戸期に軽快なテンポで演奏されていた「早四拍子」の楽曲も、かなりゆっくり演奏するように命じられました。

《参考譜》③参照

それまで一息で吹けたものが途中で息苦しくなり、息を盗み取りしなければ演奏できなくなりました。皆がバラバラに息継ぎするのは見苦しいから、仮の息継ぎの場所を決めて、きちんと息継ぎをしようということとなり、現在の息継ぎ奏法が定められたと思います。

《参考譜》④参照

参考譜② 江戸時代の越天楽 2/4 拍子= 60

参考譜③ 明治期の越天楽 4/4 拍子= 40

参考譜④ 仮の息継ぎ五線譜

筆者を含め昭和初期以後の演奏者は、スロテンポと、ぶつ切れブレスを教え込まれ何の抵抗もなく吹奏していますが、江戸期の演奏家が聞いたら「エッ！これが越天楽？」と驚くことでしょう。

「息継ぎの個人差」

筆者は楽部楽生時代、出来が悪かったせいから4人の先生の指導を受けました。初めの先生の歌い方や切りどころにやっと慣れたのですが、次の年は新しい先生で、「その歌い方はおかしい！切り方が違うー」と怒られ、

初めからやり直し・・・こんなことが続きました。楽師になったころには、危うい時には息を細めて先輩の気配を察するまでに成長？しました・・・というわけでブレスの切り所には個人差がありますので、稽古時には師匠に合わせ、また演奏時には、先輩の演奏にあわせられる余裕を持ちましょう。

「息継ぎの法則」

延八拍子の楽曲を管絃で演奏した場合。

拍節点(1拍目)から始まる場合は3拍目の後と次の1拍目の後で息を取ります。

・  
タ ア リ ア リ ア リ

陰の拍(3拍目)から始まる場合は、次の1拍目の後と4拍目を仮の息継ぎで取ります。どうしてこのようになるのかは解りませんが、音の流れの強弱を息継ぎで示したもののようになっています。

・  
タ ア リ ア リ ア リ

最後に一つ。舞立(舞楽吹き)の場合は、基本的に斜め切り(仮の息継ぎ)は無く、全て通常の横線切りです。ただし、音頭の独奏部分には、斜め切りが許されています。

ト ラ ロ ル ロ タ ア ロ ラ ア ト ラ ト ラ イ タ ロ ラ

世界の筆簾の仲間たち

そのリードから

見えてくるものは？

中村仁美

世界各地にはさまざまなダブルリードの楽器があります。ヨーロッパにあるオーボエやファゴット、バグパイプ、トルコの軍楽隊のズルナ、日本の夜泣きソバ屋さんのチャルメラ、そして雅楽で用いられる筆簾もダブルリード楽器です。

ただし同じダブルリード楽器でも、リードが小さくて管の先が朝顔形に広がっているチャルメラ系の楽器と、リードが大きくて管の先が広がらない試験管形をした筆簾系の楽器は、別系統のようです。

筆簾はシルクロードを通じて日本に伝えられたと言われていますが、今もアルメニア、トルコ、イラン、中国、韓国などでは、筆簾系の楽器が演奏されています。日本に伝えられる前の筆簾はどんな形でどんな音だったのだろう、という興味から、機会のあるたびに各地の筆簾系楽器を手に入れたり、習ったりしてきました。

各楽器それぞれ特徴がありますが、まずは管の材質が違います。アルメニアの「ドウドウク」、トルコの「メイ」、イランの「バーラーバーン」はアンズの木、中国の「管子」は紫檀、韓国の「ピリ」や日本の「筆簾」は竹を使います。樺を巻いたり、管の内外に漆を塗るような細工を施すのは、筆簾独特の工夫のようです。

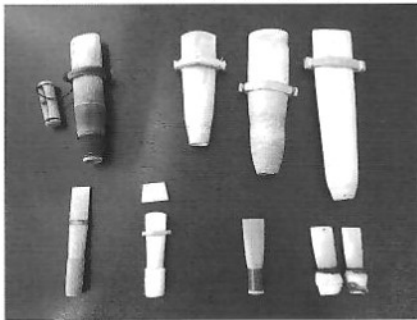
筆簾の仲間たちのリードが勢揃い

そして何よりも、音色を決めるリード<sup>リード</sup>舌部分<sup>舌</sup>がどうなっているのか、とても関心がありますよね。我が家にある筆簾の仲間たちのリードを並べて、写真をとってみました。

左写真の上段左端はアルメニアの「ドウドウク」、その右の3本はどれもトルコの「メイ」です。下段左端にあるのは韓国の「ピリ」、左から2番目がおなじみの「筆簾」、次は中国南方の「喉管」、右端に二つ並べたのは中国北方の「管子」です。

どれも円筒形のヨシの片側をつぶして吹き口とし、口の空き具合を調節する「セメ」にあたるものがありますが、筆簾のセメは藤で、メイ・ドウドウクのセメは木で楕円形に作られているのに対し、ピリと管子では針金が巻かれています。

また管に接触する部分に、筆簾なら「函紙」<sup>函紙</sup>と和紙を巻きますが、紙ではなく糸が巻かれているものも、何のや、何も巻かれていないものもあります。



筆簾の仲間たちのリード

吹いていない時にかぶせる「帽子」がないものも多いようです。それにしても、上段のリード、大きいです

ねー楽器本体も大きなサイズのものでは40cmほどの長さがありますから、リードも大きいのでしよう。日本にはこんなに太いヨシは生えていません。太いだけでなく、厚みや繊維の密度、表面のつるつる(さらさら)感も随分違っています。

オーボエのリード材料は？

リードの素材の違いについて考えている時に、以下のような文章を思い出しました。

「オーボエやファゴット、クラリネット用リードのアシ」ヨシ材 (Arundo donax) は、筆簾用リードのヨシ＝アシ (Phragmites communis または Phragmites australis) と異なります。Arundo donax は日本語で暖竹(ダンチク)と呼ばれ、径が2〜4cmにも達するイネ科多年草。関東以西から中国、インドなどに広く分布していますが、地中海沿岸に自生しているものがリードとして使われる」

(<http://seiko-phil.org/tag/%E7%A6%B3%E7%A6%9A%57/>)

『鶴殿通信』2013年4月号にも小山弘道先生が、「バグパイプのリードはアルンド」ダンチクだ」と書いていらつしやいます。ヨーロッパのリードの材料は、筆簾蘆舌に使う「ヨシ」とは種類の異なる、「ダンチク」だということです。

そういえば以前に、イタリヤのヨシで筆簾蘆舌を作ってみたら、肉厚過ぎて、外側から削り進めるとやわらかい部分しか残らず、使い物にならなかったことがあります。だからオーボエのリードは、内側から削って外側の硬い部分に近い所を残し、2枚を合わせて

ダブルリードにするのだ、と納得したのですが、あの材料が「ダンチク」だったのです。ドウドウクやメイのリード材料は？

ヨシは1年で地上部が枯れるので、外径がせいぜい12mmほどにしかありませんが、オーボエリード材料のダンチクは、多年草で数年かけて成長するので、外径が40mmにもなるといいです。だとしたら、写真上段にあるあのかかいかいリードの材料は、ヨシではなくてダンチクなのではないでしょうか？

インターネットで調べると、ドウドウクや管子のリード材について、Arundo donax (ダンチク)であると書いてあります。やっぱり！オーボエやクラリネットだけでなくドウドウク、メイや管子もリードにダンチクを用いている。とすれば、ヨシを用いる筆簾は少数派ということになりそうです。

そういえば、トルコでメイを教えてくださいました先生の吹く音色の柔らかさは、クラリネットの音色を思い起こさせるものでしたし、ドウドウクの音色もわかり。ヴィブラートを用いて柔らかく吹く奏法によるものと思っていきましたが、むしろどちらもリードにダンチクを用いるから、柔らかい室内楽的な音色になるのかもしれない。逆に言えば、筆簾の音色が鋭く音量が大きいのは、リードにヨシを用いるからとも言えそうです。

また、ドウドウクや管子では、リードの先端を平に潰す時に、筆簾のように火で温めながら潰すのではなく、お湯の中で温めて潰しますが、これも材質の違いに合わせた製法なのかもしれません。

なぜ筆築のリードには

ダンチクでなくヨシを用いるのか

では、なぜ筆築のリードにはダンチクを用いないのでしょうか？

日本にダンチクが生えていないわけではないのです。小山先生によると、和歌山の海の方にも沢山ダンチクが生えているとのことですから、一つ言えば、「鶴殿のヨシ」ではなく「和歌山のダンチク」が千年間、筆築蘆舌として使われることになったのかもしれないのですが。

もしかしたら、筆築系楽器が東へと伝播していく途中、ダンチクが生えない地域があったのかもしれない。韓国の「ピリ」のリードは「海蔵竹」という竹で作るそうです。暖かい地方に生えるダンチク（暖竹）の代わりに朝鮮半島では海蔵竹を用いるようになり、日本でもこれに性質が近いヨシを用いるようになった、という仮説が立てられるかもしれませんが。

いずれにせよ、世界のダブルリード楽器のなかでも、もつとも東にたどり着いた筆築のリードの材料だけが他とは違っているとしたり、とても興味深いことだと思えます。

Reedの和訳はヨシ？ ダンチク？

さて、先ほどから頻出する「ダンチク」という名前ですが、あまり馴染がない言葉ですよ？オーボエのリードは「ヨシ（アシ）」で作られているんじゃないの？「ダンチク」なんて言葉は聞いたこともないよ、という方も多いのではないのでしょうか？

ここで一度、「ヨシ」と「ダンチク」の用

語の混乱について調べてみる必要があるようです。

そのまえに、まずは「ヨシ」「アシ」について。「ヨシ」と「アシ」は同じか？

もとは「アシ」と呼んでいたのですが、「アシ」では言葉が悪いので「ヨシ」と言い換えたと言います。「するめ」が「あたりめ」になったようなもの。だから「ヨシ」と「アシ」は同じものですが、明治期に植物学が始まった時に、学術用語としてはヨシの方が採用されたのだそうです。

ではこの「ヨシ」と「ダンチク」は植物学的にどう違うのでしょうか。

「ダンチク亜科」の下に

「ヨシ属」と「ダンチク属」

「ヨシ」の学名は *Phragmites australis* (または *Phragmites communis*)。

イネ科ダンチク亜科ヨシ属ヨシ(種)です。

「ダンチク」の学名は *Arundo donax*。

イネ科ダンチク亜科ダンチク属ダンチク(種)となります。

日本人の感覚

としては、「ヨシ」が聞きなれない「ダンチク」の下位分類に過ぎないという

のはちょっと納得できない気がしますね。

写真上部にある、長い2本が鶴殿の「ヨシ」

で、下3本がイタリア産の「ダンチク」です。



上2本ヨシ、下3本ダンチク

このダンチクは細めですが、表面がつるつるしていて、肉厚。節が短いです。

Reedを和訳すると

馴染みのないラテン語

学名はさておき、リード (reed) はたしかヨシという意味だったはず。辞書で「reed」の意味を確かめてみましょう。(『ランダムハウス英和辞典』より 傍線筆者)

reed 1・アシの茎…沼地に生える背の高いイネ科の草の茎・特にヨシ属 *Phragmites*、ダンチク属 *Arundo* の茎。

2・アシ：イネ科ヨシ属・ダンチク属の植物の総称。(中略)

5・【音楽】(1) あし笛：アシやその他の植物の中空の茎で作った牧羊者のそばくな笛。(2) リード、簧(した)：各種有簧楽器の吹き口についていて、吹き込む空気の流

れで震動し、楽器の管の中の空気柱を震動させるアシ・木・金属などの小さくて、しなやかな薄片。(3) (オーボエ・クラリネットなど) 有簧楽器。(後略)

やっぱり！「リード (reed)」の中には、ヨシもダンチクも含まれていたんですね。そして2番の訳にみえるように、ヨシ属もダンチク属もどちらも「アシ」(または「ヨシ」)と和訳されているのです。だからオーボエのリード材は「アシ」「ヨシ」と呼ばれ、わざわざ「ダンチク」だと言うことが少ないわけです。

ちなみに、日本で「アシ笛」として知られるアンデスのサンポーニャも、実はヨシではなくダンチクできています。

学名では「ダンチク」の下位分類に「ヨシ」と「ダンチク」があるにもかかわらず、日本語に訳すと逆に、「ヨシ」も「ダンチク」もひっくり返って「ヨシ(アシ)」と訳されているというのは、ややこしい話です。

「Reed」を、「ヨシ(アシ)」と訳すことにしたために、日本では「ダンチク」は「ヨシ(アシ)」という言葉の中に取り込まれてしまったように思えます。

日本に渡来してから、

身近なヨシを蘆舌に？

神話に「葦原中津国」と称される日本では、ヨシ(アシ)のほうがダンチクよりも身近な植物です。世界的には、笛の材料やリード材料としてダンチクを使うことが普通なのかもしれないませんが、日本にはそれが根付かなかったのでしょうか。

千数百年前に海を渡ってきた筆築のリードは、やっぱり実はダンチクだったのかもしれない。たまたま身近にある鶴殿のヨシでリードを作ってみたら、なかなか音色がいい！というので、ヨシを蘆舌にする伝統となったのかもしれないね。

蛇足ですが、パスカルの「人間は考える葦である」という言葉。これまで川辺の細いヨシを想像して納得していた私ですが、もしかしたらパスカルが見た葦は、外径4cmのダンチクだったのかしら？

(中村仁美氏のブログ、5月21日、22日を元に、本人が修正加筆して転載)



筆築 蘆舌ヨシと高速道路

7万筆の署名を

国土交通省へ提出予定

新名神高速道路の建設により、ヨシの絶滅が迫ってきているといわれる中、昨年7月より始められた署名は7万筆余が集まり、太田国土交通大臣への提出が予定されている。署名を呼びかけた「SAVE THE 鶴殿ヨシ原」の代表である中川英男氏は「署名は、雅楽関係者のみではなく、いろいろなジャンルの方々から寄せていただきました。西日本高速道路（以下NEXCO）は、筆築用ヨシと共存できると話すが、実際に共存できるという調査結果は一つも出ていない。筆築用ヨシは絶滅するのではないかと云う心配が増えるばかり。署名活動は今後も引き続き行ないます」と語る。

第2回検討会 問題点は山積み

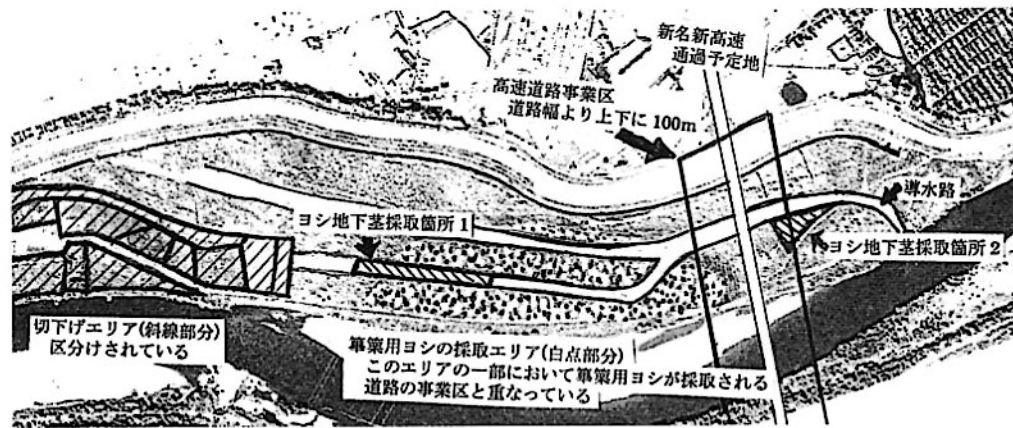
筆築用ヨシは、絶滅間近？

ところが、高速道路の建設をすすめるNEXCOは、工事を進めることを優先して準備を始めている。

第2回検討会は、6月23日 高槻市市民会館で開催された。主な議案は1月から行われている地下水やヨシの発芽などの調査の報告にあてられたが、時間不足で駆け足での報告であった。質疑の時間も短く、充分な議論は行なわれなかった。

筆築用ヨシの採取エリア

筆築用ヨシがどこで生育しているのかと云うことは今まで公表されていなかったがNE



筆築用ヨシの生育地、高速道路予定地と事業区、導水路、切下げ地、ヨシ地下茎採取地などを記載。

XCOは「地元の方の了解が得られた」と公表した。なお、実際の採取エリアは「この中の一部」と注記しているとおり、このエリアの4分の1程度の範囲しか筆築用ヨシの生育エリアではなく、ヨシ原全体から見ると面積としても数パーセントに過ぎない。

また筆築用ヨシの採取地域はヨシ原の上流側である。ヨシ原の入会権は二つの組合に分かれており、上流側が上牧実行組合、下流側が鶴殿のヨシ原保存会である。

筆築用ヨシのエリアが高速道路の

工事区域（事業区）と重なる

筆築用ヨシは絶滅へ

ところがこの筆築用ヨシの生育エリアの道路建設に近いところは「直接改変箇所およびその影響が大きいと考えられる箇所、事業区」（注1）と重なっていることが、NEXCOから国土交通省の淀川環境委員会に提出された資料によって明らかになった。筆築用ヨシの生育場所は道路端より60mです。事業区は高速道路の端から100mの範囲なので、40mは踏み潰されることになる。

筆築用ヨシの生育地が、工事の事業区となれば筆築用ヨシの生育地がさらに減るばかりでなく、絶滅の可能性はさらに高くなる。

一部が傷つくと全てが消える

筆築用ヨシは、特別なヨシ

クローンの可能性

筆築用のヨシと他のヨシとの違いについて、「筆築用のヨシは特別な性質を持っているヨシで、その特性を変えずに地下茎で繁殖し続け、長ければ1000年以上同じ性質のヨシを伝え続けてきたのではないかと小山弘道委員は検討会で報告し、さらに「ヨシ栽培の歴史は無い、栽培できるかどうか不明で調査は始まったばかり。説明はこれから。もし地下茎の一部でも傷ついたら筆築用ヨシは絶滅する可能性が高い。このヨシは依然とし

て絶滅危惧種である」と筆築用ヨシの絶滅の不安を強く訴えている。

ヨシ原の復元を二十年余にわたり

目指してきた淀川環境委員会

ヨシ原のヨシが絶滅の危機に至っている大きな原因は、今から43年前、1971年から始まった淀川の改修工事によるところが大きい。淀川の川底を3〜4メートル掘り下げたことによりヨシ原は冠水しなくなって乾燥化が進み、ヨシの生育環境が最悪のものとなった。資料によると河川工事前は80%余がヨシ原だったのが、工事後の1974年、ヨシ原は20%に激減し、さらに1982年には5%となりヨシは絶滅の危機を迎えていた。「ヨシ原を7割に」

淀川環境委員会の目標

このヨシの危機的状況の中、当時の建設省は、なんとかヨシ原を回復させようと英知を集めて検討し、ヨシ原回復の第一弾として導水ポンプを1996年に設置し、乾燥したヨシ原に水を流すことにした。

さらにその後、建設省淀川工事事務所の中に淀川環境委員会が設置され、2002年（平成14年）に「7割程度のヨシ原を確保」（注2）という目標をめざして、大きく三つのことが進められた。

その一つはすでに行われている導水ポンプを設置して、水をヨシに近づける方法（導水）を続けていくこと。これは、淀川の水を導水ポンプで汲み上げて水路を作りヨシに水を送るというものである。（注3）

二つ目は、ヨシを水に近づける（切り下げ）

方法。これは淀川の水位が下がった分だけヨシ原を掘り下げて、淀川の水位に近づけ、ヨシ原を創出しようと試みるというものである。

三つ目は、良質なヨシの地下茎を移植して「ヨシが成立していないところ等に、新たに大規模なヨシ原を創出するものとする」（注4）ものである。

この方法で「ヨシ原を7割に」という目標に向けて大きな実験が開始された。

導水路は1996年から毎年のように下流側へ延し、（注5）ポンプも増設し、昨年も工事が行なわれた。

また1998年（注6）から、年毎にヨシ原の下流側の土地を幾つかの区画に分けて、それぞれの区画をブルドーザーなどで数m余掘り下げ、多くの地には上流側の良質なヨシの地下茎が撒かれていった。

上手くいけば下流側にも大きなヨシ原が回復し、全体で7割のヨシ原となる計画であった。しかし、その一つ一つが裏目に出て行く。その後の環境委員会の報告を読むと、いかにヨシの人工的な栽培が難しいものであるかわかる。

では、大きな実験のその後の報告を見ていこう。

#### 水をヨシに近づける方法

##### 「ヨシ群落の回復は難しい」

ヨシ原に導水を始めてより13年後の2009年、淀川環境委員会に提出された報告には、「もともとヨシが少ないところやオギなどが優占しているところでは水条件の改善のみではヨシ群落への回復は難しいことが判った」（注7）と報告され、また翌年2010年の報告は「導水対策は、既存のヨシ

シ群落を維持するために緊急的に行なってきたが、その効果は十分ではなくヨシ群落の生育範囲はきわめて限定された状況にある」（注8）と報告された。

ヨシの回復のために淀川の水を汲み上げての10年後の結果は、「水を送るだけでは充分でなく、ヨシを回復させるのは難しい」という結果を報告している。

#### 土地を切り下げ、ヨシを水に近づける

##### 「筆管用ヨシは確認できない」

##### 「既存のヨシ群落に限られ生育」

では、ヨシ原の下流側、土地を切り下げヨシの地下茎（根茎）を撒いてヨシ原の再生を願って大々的に行なわれ続けている方法は、どのようになっていたのであろうか。

平成20年度の報告によると、平成15、16年に切下げた箇所は「パッチ状にヨシ群落は見られるものの、大半はオギ群落となっており（中略）秋季にはヨシ群落が消失」（注9）と報告され、平成17年に切下げた箇所は「ヨシ群落面積が減少し、秋季はヨシ群落面積が0となり」（注10）とヨシが生育していないという悲しい報告が続く。

さらに平成22年3月に開かれた環境委員会では、ヨシ原の再生、特に筆管用のヨシの再生は、非常に困難ではないかとの思いを強くさせる絶望的な報告が行なわれる。切下げた地でのヨシの生育状況の報告に続き「ヨシの質の面からは、筆管の蘆舌の材料となる茎径12mm以上のヨシはほとんど確認できていない。それ以降の新しい切下げ地においてもそのような水準に達しているヨシは確認できていない。（中略）筆管の蘆舌の材料となるヨシなど、鶴殿の歴史文化性の特徴付けるヨシは既存のヨシ群落に限られて生育」（注11）

と報告された。

即ち、下流側にもヨシ原を再生させようとする日本の最高の英知を集めて10年以上にわたる色々な方法で調査・実験を繰り返してきたが、ヨシの予想した回復はならなかった。まして筆管用のヨシは再生させられなかった。筆管用のヨシは、上流側に少し、昔から生育している地域でのみ生育しているだけ、というのである。

#### ヨシの地下茎採取地

##### 「ヨシの回復状況不良」

下流側に撒くために上流側のヨシの地下茎を採取された地（上流側の地）はどのようになっているだろうか。この地は良質なヨシが生育している地だった。当然この地は、良質なヨシが再生されるものと思われていた。

ところが、ヨシを採取された地（ヨシ採取地は2箇所ある）がどうなったかと云うと、採取地1は、平成20年3月の環境委員会では「ヨシの回復状況が不良であることが確認された」（注12）。「ヨシ採取地1では、ヨシ、オギが優占するほか、ツルマメ、アレチウリ等のつる性の群落が優占種となっている。」（注13）とヨシは再生せず、つる性の植物に変わっていった様子が報告されている。翌平成21年の環境委員会でもほぼ同様「秋季では、大半がツメマメやセイタカアワダチソウ等の乾性の群落が約半数を占め」（注14）とあり、ヨシからつる植物に変わってしまったとの報告が続く。

では、もう一ヶ所（地下採取地2）はどうなったかというところ、こちらも平成18年6月の環境委員会には「ツル植物の繁茂が著しい」（注15）とヨシが減ってツル植物の増加が報告され、さらに平成21年3月の報告も「春季

ではヨシ群落面積が昨年度より減少し、代わりにオギ群落の面積が約2倍に増加した」（注16）とヨシが減り、つる植物やオギが変わっていき様子が報告されている。

ヨシの地下茎が採取された地は、ヨシ原に戻ることには無かった。

#### 筆管用ヨシは年々減少

これらのことを証明するようにヨシ原の入会権を持つ方々は「筆管用のヨシは、減少している。以前は、本数も取れていたが、今は宮内庁などに納める本数を確保するのがやっとの状態」と語っている。

#### ヨシの減少 質も低下

淀川環境委員会は、日本の最高の研究者の集まりで、この委員会は、建設省の時代も含めると20年以上各側面から調査研究し実験してきた。しかし、河川工事の直後の1974年の20%のヨシ群落の再生も残念ながら達成できていない。数年間の動きだけを見るとヨシ原の増加も見られるが、ここ20年余、ヨシ原は15%程度の横ばいである。

#### 3年余の調査・研究で工事着工は無謀

このような状況の中で、NEXCOは、平成28年には道路工事に入るとしている。淀川環境委員会の20年余の活動でもヨシ原再生の確実な方策を見出すことはできていない。このような状況の中、2〜3年の調査・研究で「筆管用ヨシとの共存」の方策を見出すことは「願望」を語るにすぎない。

オーボエのリード用のヨシ（ダンチク）を栽培したことがある人は、「オーボエリード用の地下茎を移植してみたが、3年ほどは採取地と同じような、リードに使えぬ質のものが生育するが、5年もすると今まで生えていたヨシと同じような質になってしまい、リー



ドには使えなくなってしまう」という。ダ  
ンチクでも移植することの難しさが伺える。  
高速道路ができてから失敗だったということ  
では、取り返しがつかない。

### 大臣との約束「焼き原(ヨシ原焼き)」

「焼き原の日は、道路を閉鎖する」との国  
土交通大臣と東儀秀樹氏との約束(注17)を  
NEXCOは、反故にして、通行させたまま  
ヨシ原焼きを行なう準備を始めている。(注  
18)ヨシ原焼きの重要性は、「雑学だより」  
紙面でも語られている。地元の人たちの話で  
は、「今のようなヨシを細かく砕いてヨシ原  
を焼いてもだめだ、昔のように炎を立ち昇る  
ように焼くから地面に灰が積もり肥料にもな  
る。今のような焼き方では、くすぶるだけで  
肥料にならない」と、現在の煙や炎が出ない  
ようにヨシをチップ状にして焼く方法ではた  
いして意味が無いと語っている。

10年間 凍結された区間  
ヨシ原真上の高速道路は不要  
このヨシ原の真上を通る高速道路の計画  
は、1987年、今から26年前に計画された。  
その後2003年に「京滋バイパスと重複す  
るから」と「抜本的に見直しの区間」とされ、  
10年間も計画を見直し、凍結されていた。  
それが突如として昨年(2012年) 4月  
20日この区間の着工となった。

その4日後、この着工について現東京都知  
事で公団民営化委員でもあった猪瀬直樹氏は  
「前田大臣は、交通状況を分析したり、審議  
会で議論することなく、独断で建設再開を決  
めてしまった。はつきり言って、選挙目当て  
である。(中略)渋滞増加は麻生太郎政権が  
リーマンショック対策で打ち出した「土日休

日上限1000円割引」という特殊要因(い  
わゆる麻生割引)によるものだ。麻生割引は  
2011年6月で終了しているから、その後  
の交通量は減っているはずだ。(中略)官僚  
だけがデータを握り、政治家の一声で無制限  
に道路が作られていく古い政治が復活してい  
る。客観的データを無視したら日本は滅び  
る。」(注19)と記している。

この高速道路の建設の理由としては、①渋  
滞の解消、②ネットワークの多重化、③道路  
の老朽化の対応が挙げられている。  
しかし、下の道路図を見れば新名神大津  
八幡間と高槻と神戸間が繋がれば、ヨシ原の  
真上を通る八幡と高槻間を建設しなくとも問  
題は全て解決することがわかる。

### 必要性に疑問

まず渋滞とネットワークの多重化について  
は、八幡と高槻間が無くとも問題は無い。こ  
の夏のお盆の渋滞情報を見ると、新名神が建  
設されていない現在でも大きな渋滞は起きて  
いない。  
ネットワークの多重化は、道路地図でわか  
るとおり、大津と八幡間は三重のネットワー  
クが出来る。高槻と神戸間も二重のネットワ  
ークが完成する。

道路の老朽化は、大山崎と京都間が50年を  
経過した箇所であり、補修工事の必要区間と  
しているが、この区間は、京滋バイパス、新  
名神大津と八幡間と2本の迂回路ができ、老  
朽化に対する工事も問題は無い。  
老朽化について考えれば、ヨシ原の真上を  
通る道路も50年ごとに工事が行なわれ、ヨシ  
原が荒されることになる方が問題であろう。



関西地区の高速道路網 ヨシ原の真上を通る八幡～高槻間(点線部分)が無くともネットワークは完成する

### 当時の環境アセスメント

筆葉・蘆舌への言及は一言もなし  
なお、この区間について1994年に行な  
った環境アセスメント(環境影響評価)では、

「重要な植物の現状調査結果」の中で「右岸  
の河川敷及び堤防は、ヨシ、オギ、ススキ等  
の草原が発達し、広大なヨシ原が残されてい  
る(中略)上記確認種のうち、タコノアシ、  
ミソコウジュは「我が国における保護上重要

な植物種の現状」による危急種である(注  
20)と報告され、筆葉、筆葉用のヨシ、蘆舌  
などについては、全く触れられていないばか  
りか、「我が国の重要な植物」として「タコ  
ノアシ、ミソコウジュ」の保全が強調されて  
いる。「葦原の保全に務めること」(注21)の  
文言もあるが、これは筆葉用のヨシの保全に  
言及しているものでないことは明らかである  
。環境アセスメントは、このヨシ原が筆葉  
の蘆舌に使われる世界でも唯一のヨシの生育  
地であることを全く考慮していない。これは  
重大な問題である。

「本来、再アセスを行なうべき」  
環境アセスメントにおける世界の中心学会  
であるIAIA(国際影響評価学会)の会長  
を日本人として初めて務め、IAIAの中で  
最高賞、ローズハーマン賞を今年受賞された  
千葉商科大学教授、原科幸彦氏にヨシ原横断  
の新名神高速道路についてお伺いすると、「あ  
るべき環境アセスメントであれば、この事例  
は再アセスを行わなければならない。日本の仕組  
みではそうならない。現行制度のアセス  
は適用できなくても、事業者の自主判断で本  
来あるべきアセスを実施することは可能(注  
22)。だが、事業者のNEXCO西日本はア  
セスを避けて検討会を設けたのでしよう。検  
討会は透明性、公開性がポイント。情報公開  
と参加をきちんと行い、住民等、様々な主体  
の疑問にきちんと答える「意味ある応答」を  
することが必要」とコメントを寄せていた。

筆葉用ヨシを守るために  
今回の調査で筆葉用のヨシは、絶滅寸前の  
状態にあることが明らかになった。このよう

な現状の中で筆楽用ヨシの生育地が「事業区」として工事現場と重なり、ブルドーザーなどがヨシ原を押し倒せば高速道路の完成を待たずに筆楽用ヨシは絶滅し、千数百年続いた唯一無二の世界無形遺産である雅楽も原型を継承することができずに世界の文化から消滅することになる。

筆楽用のヨシを守るために英知を集め、世界の宝である雅楽を後世に伝えていきたいと願う。  
(鈴木治夫)

(注1) 第33回淀川環境委員会 参考資料3

P 23、24 2013年7月23日

以下(注16)まで淀川環境委員会の資料

これらは淀川河川事務所・淀川環境委員会のホームページで見られる。

(注2) 『自然豊かな淀川をめざして資料編淀川本川1』P1-20 2002年3月

P1-19に「(2) 歴史・文化遺産の特徴(中略) 雅楽器 ヒチリキのリ」

下部分の原産地である」と記載

(注3)(注4) (注2)の資料のP1-21

(注5) 第24回淀川環境委員会、1陸域環境部会 会館保全フォアアップWG P1

—28 2009年3月27日

(注6) 第30回淀川環境委員会資料1各部会からの報告P2。2012年3月26日

(注7) (注5)の資料のP1-28

(注8) 第26回淀川環境委員会、資料1各部会からの報告P1-10

2010年3月26日

(注9) 第24回淀川環境委員会、陸域環境部会 鶴殿自然再生WG P1-6

2009年3月27日

(注10) (注9)の資料のP1-10

(注11) (注8)の資料のP1-9 筆楽用ヨシは「H14年切下げ地でH17調査で「本のみ」確認と記している。

(注12) 第22回淀川環境委員会資料1各部会からの報告資料P1-11

2008年3月20日

(注13) (注12)の資料のP1-5

(注14) (注9)の資料のP1-12

(注15) 第19回淀川環境委員会資料1各部会からの報告陸域環境部会P7

2006年6月22日

(注16) (注9)の資料のP1-14

(注17) 東儀秀樹氏2012年11月20日ブログ

(注18) NEXCO西日本及び日本経済新聞8月21日付

(注19) 猪瀬直樹の眼からウロコ(4人目の大臣)が突然決めた新名神建設再開

(注20) 『第二名神自動車道環境影響評価書』P4-27 平成6年12月大阪府

(注21) (注20)の資料のP13-6

(注22) 原科幸彦著『環境アセスメントとは何か』岩波新書、赤版、1301、平成23年

平安時代作成の 琵琶楽譜を補修 宮内庁

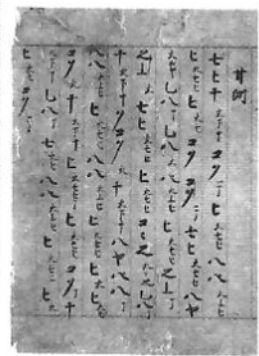
宮内庁書陵部は6月20日、平安時代に作成された琵琶の楽譜の補修作業を完了したと発表した。

補修が終わったのは「琵琶調子譜」59枚

と、「琵琶譜」25枚。9世紀前半に遣唐使に加わり、唐で琵琶を習得した藤原真敏が日本に伝えた楽譜を、10世紀に清和天皇の皇子、

貞保親王が編集。平安中期の11世紀ごろ、皇室

室か上級貴族の発意で書写されたとみられる譜面。



補修が終わった琵琶譜 写真提供・宮内庁書陵部

人気の高い 楽器体験

雅楽の楽器は、とても珍しいということもあり、楽器体験は人気がある。

7月7日東京オペラシティでの東京楽所の定期公演では、4歳から高校生までを対象にした無料公開リハーサルで鞆鼓・太鼓・鉦鼓の体験コーナーがロビーに設けられた。子供



7月7日、子ども楽器体験

たちはゆっくり順番を待って、それぞれの打楽器を楽しそうに演奏していた。打楽器は宮本太鼓店の協力。

また6月29日、2時から国立劇場小劇場での「雅楽を楽しむ」(演奏・伶楽舎)の公演

では、ロビーに、笙、箏、篳篥、龍笛の管楽器と、鞆鼓、太鼓、鉦鼓の打楽器の体験コーナーが設けられ、小劇場のロビーは身動きが取れないほどの人気であった。大人の体験希望

者が多く、「1度触ってみたかったんです」と目を輝かして楽器体験に臨む姿が印象的だった。そして劇場内では、舞台と客席とが一体

となって越天楽の唱歌が響いた。

前号に掲載できなかった 演奏会など

○雅楽コンサート、(ドイツ・ケルン) サンクト・ゼーベリン教会

7月11日午後8時

曲目 笙による盤渉調子 御神楽 朝倉

ほか。 演奏 豊英秋元宮内庁楽部首席楽長ほか

○ザルツブルグ音楽祭2013(ドイツ) アンサンブル遊藝公演 コレギエン教会

7月22日(月) 午後9時 曲目 志越調音取 胡飲酒破ほか

演奏 芝祐靖 宮田まゆみ 中村仁美ほか

秋く冬までの主な雅楽演奏会など

富山縣護國神社奉納雅楽(富山) 10月5日(土) 午後1時 入場自由

管絃 越天楽ほか 舞楽 萬歳楽 蘭陵王 納曾利 演奏 洋遊会

問合せ 076-421-6957

音の息吹(東京) 10月5日(土) 午後6時半

東京文化会館大ホール 一般4000円 学生2000円

芝祐靖作曲「舞風神」 演奏 伶楽舎 \*他に能楽 素囃子 尺八

ダンスと邦楽など 問合せ 03-3467-5421

伝統WA感動実行委員会事務局 今宮神社 秋の大祭(京都) 10月8日(火) 午後7時 宵宮祭 御神楽

演奏 平安雅楽会 9日(水) 午前10時 東遊 問合せ 075-491-0082

下鴨神社 大國祭(京都)

10月9日(水) 午後1時  
舞楽 蘭陵王 抜頭 演奏 平安雅楽会

乃木神社 管絃祭(東京)

10月10日(木) 午後6時

管絃 志越調 迦陵頻急 朗詠 九夏 壹團嬌  
舞楽 還城楽(左) 陪臚 演奏 雅楽道友会

問合せ TEL 03-3783-2371

神奈川雅楽部第17回雅楽演奏会(神奈川)

10月10日(木) 午後7時 1500円  
かなつくホール(JR東神奈川駅徒歩1分)

管絃 菩薩破 舞楽 喜春楽 ほか  
問合せ TEL 045-931-1573

音楽堂で聴く雅楽(神奈川)

10月12日(土) 午後3時 一般4500円

神奈川県立音楽堂 石井真木 飛天生動  
舞楽 胡飲酒 萬歳楽 他 演奏 東京楽所

問合せ TEL 045-263-2567

沙沙貴神社近江源氏祭(滋賀)

10月13日(日) 午前10時30分

曲目 貴徳破 出演 女人舞楽原笙会  
問合せ TEL 0797-23-1886

伊勢神宮内宮特設舞台(三重)

10月13日(日) 午前11時25分

管絃 越天楽ほか 舞楽 萬歳楽 蘭陵王  
演奏 洋遊会

主顧会主催雅楽演奏会(愛知)

10月14日(月) 午後5時半

阿弥陀寺(愛知県西尾市) 8000円  
十方(盤渉宮音) 席田 黄鐘調 調子 抜頭

陪臚 殘楽三返 迦陵頻

問合せ TEL 090-9194-5600(柴垣)

厳島神社 菊花祭(広島)

10月15日(火) 夕方より、菊花祭祭典に引き

続き舞楽 振鈴三節 萬歳楽 延喜楽 一曲

蘇利古 散手 貴徳 蘭陵王 納曾利 長慶子  
問合せ TEL 0829-44-2020

日光東照宮 東遊(栃木)

10月17日(木) 正午より

例大祭御旅所祭にて東遊  
問合せ TEL 0288-54-0560

宮内庁楽部 秋季雅楽演奏会(東京)

10月18日(金)、19日(土)、20日(日)

各日、午前10時30分、午後2時30分  
皇居 宮内庁式部職楽部

管絃 平調音取 三台塩急 朗詠 花上死  
老君子 舞楽 散手 林歌  
申込は締め切っている

問合せ TEL 03-3213-1111

大原勝林院開創一千年紀 慶讃法要(京都)

10月20日(日) 午前10時

舞楽 万歳楽 演奏 平安雅楽会  
問合せ TEL 075-871-1972

齋宮行列 野宮神社(京都)

10月20日(日) 午後2時より

舞楽 抜頭 演奏 平安雅楽会  
問合せ TEL 075-871-1972

四天王寺 経供養舞楽(大阪)

10月22日(火) 午後1時

四天王寺太子殿前庭 舞楽 振鈴 打毬楽  
拍棹 蘭陵王 演奏 天王寺楽所雅亮会

問合せ TEL 06-6641-0084

三翁神社(厳島神社の近く) 祭典(広島)

10月23日(水) 午前10時より祭典中に  
振鈴 萬歳楽 延喜楽(予定)

問合せ TEL 0829-44-2020

天理大学雅楽部第45回天理公演(奈良)

10月25日(金) 午後6時半

相思千二年・源氏物語廻り初音の巻より

天理市民会館 前売1000円

伎楽 只公 管絃 志越調 迦陵頻 酒胡子  
謡物 催馬楽 竹河 舞楽 貴徳 春鶯囀

問合せ TEL 0743-63-4945

なお、名古屋公演 2月15日(土)。第33回  
大阪公演 3月1日(土)。第39回東京公演

3月9日(日)。各会場前売2000円  
当日3000円 詳細は次号に掲載。

静と動 韓国伝統音楽と舞踊(東京)

10月26日(土) 午後2時 2000円

洗足学園音楽大学シルバーマウンテン地下  
出演 張理香 李昌燮 趙寿趙玉

問合せ TEL 070-6470-2414

明治神宮 舞楽(東京)

10月27日(日) 午前11時

舞楽 振鈴 散手 林歌 長慶子  
出演 楽友会

問合せ TEL 03-3379-5511

函館楽所第6回演奏会(北海道)

10月28日(月) 午後7時 無料

函館市芸術ホール  
管絃 盤渉調 千秋楽 蘇莫者  
舞楽 納曾利ほか

問合せ TEL 0138-41-5467

古典の日 管絃と舞楽の特別公演(京都)

11月1日(金) 午後1時30分

京都アスニーホール  
管絃 越天楽ほか 舞楽 蘭陵王 納曾利  
演奏 平安雅楽会

問合せ TEL 075-812-7222

春日大社 文化の日舞楽演奏会(奈良)

11月3日(日) 午前10時祭典にて舞楽 貴徳

午後1時30分 神苑内 管絃 音取 更衣  
陪臚 舞楽 振鈴 北庭楽 拍棹 還城楽(右)

長慶子

問合せ TEL 0742-22-7788

京都御所 一般公開(京都)

11月3日(日) 午前10時、11時 2回公演

舞楽 未定 演奏 平安雅楽会  
問合せ TEL 075-871-1972

秋の舞楽会(三重)

11月9日(土)、10日(日)

午前10時と午後1時 六華苑

舞楽 振鈴三節 賀殿 納曾利 太平楽  
還城楽 蘇莫者 古鳥蘇 央宮楽 長慶子  
演奏 多度雅楽会

音輪会 第14回雅楽演奏会(京都)

11月9日(土) 午後5時半

京都芸術劇場春秋座

前売3000円 当日3500円  
管絃 壹越調音取 迦陵頻破(延只拍子) 同

急(残り楽)、雅楽アラカルト

舞楽 央宮楽 拍棹 長慶子  
問合せ TEL 077-572-2013

雅楽翠篋会 第11回雅楽演奏会(奈良)

チケットプレゼント有り

11月10日(日) 午後1時半

なら100年会館 大ホール

前売3000円 学生2000円  
舞楽 胡飲酒 管絃 盤渉調 白柱 歌物  
朗詠 一声 管絃 越殿楽

舞楽・喜春楽 拍棹  
問合せ TEL 0743-64-5458

久米舞 樞原神宮(奈良)

11月23日(土) 午前11時

久米舞 祭典の中で  
問合せ TEL 0744-22-3271

雅楽の歌舞(愛知明治村)

11月23日(土) 24日(日) 午後3時と6時



舞楽 振鉦三節 納曾利 賀殿 長慶子  
演奏 多度雅楽会

錦天満宮 秋季大祭 (京都)

11月25日(月) 午後2時より

舞楽 蘭陵王 納曾利 演奏 平安雅楽会

問合せ Tel 075-871-1972

第47回雅楽公演会 (大阪)

天王寺楽所雅亮会

11月27日(水) 午後6時半 4000円

フェスティバルホール(大阪)

第一部 大管絃 志越調 賀殿急 胡飲酒破

第二部 舞楽 振鉦 萬歳楽 胡蝶 春庭花

退出音声 長慶子

主催 天王寺楽所雅亮会 朝日新聞社

問合せ Tel 06-6641-0084

第50回佼成雅楽会公演 (東京)

12月8日(日) 午後2時 無料

立正佼成会法輪閣大ホール

舞楽 一帖春庭花 還城楽 納曾利

嘉祥萬寿楽(作曲・指揮 芝祐晴)

問合せ Tel 03-5341-1148

博雅会雅楽北陸公演 vol. 3 (石川県金沢市)

～はじめての雅楽(演奏とお話)～

チケットプレゼント有り

12月8日(日) 午後2時 石川県立美術館ホ

ール 前売2000円 当日2500円

管絃 平調 越殿楽残楽三返 萬歳楽 他

催馬楽 伊勢海

講演 「祀る心」伊勢神宮をめぐって

伊藤純 (大阪歴史博物館学芸員)

舞楽 蘭陵王 演奏 博雅会

問合せ Tel 080-2415-2347

紫の縁「源氏物語の世界」(京都)

12月14日(土) 午後2時

旧嵯峨御所大覚寺門跡

舞楽 未定 演奏 平安雅楽会  
問合せ Tel 075-871-1972

鶴岡八幡宮 人長の舞(神奈川)

12月16日(月) 午後5時半

御鎮座記念祭にて御神楽 人長の舞

問合せ Tel 0467-22-0315

★読者チケットプレゼント★

☆音輪会 11月9日

京都芸術劇場春秋座 5名様ご招待

10月26日必着 招待券を送付

☆雅楽翠笛会 11月10日

なら1000年会館(奈良) 5名様ご招待

10月26日必着 招待券を送付

☆博雅会雅楽北陸公演 12月8日

石川県立美術館ホール(金沢) 10名様招待

11月25日必着 招待券を送付

応募資格:「雅楽だより」定期購読者

応募方法:はがきに希望の演奏会、住所、氏名、

電話番号など必要事項を記入。

応募先・〒188-0013

東京都西東京市向台町6-12-6鈴木方

「雅楽だより」編集部

春日大社 若宮おん祭 お旅所祭(奈良)

12月17日(火) 夕方より

舞楽 東遊 振鉦 萬歳楽 延喜楽 賀殿

長保楽 和舞 蘭陵王 納曾利 散手 貴徳

抜頭 落躑 ほか

問合せ Tel 0742-22-7788

下鴨神社 御内御折禱祭(京都)

12月22日(日) 午後4時

御神楽 演奏 平安雅楽会

問合せ Tel 075-871-1972

厳島神社 天長祭(広島)

12月23日(月) 午前9時の天長祭に続いて

舞楽 振鉦 萬歳楽 延喜楽 蘭陵王  
納曾利 長慶子

問合せ Tel 0829-44-2020  
伶楽舎雅楽コンサート no.27 (東京)

大名の楽しんだ雅楽

～紀州徳川家徳川治宝をめぐって～

12月25日(水) 午後7時 四谷区民ホール

3000円(前売2500円)

管絃 越天楽 催馬楽 安名尊 舞楽 陵王

甘州 ほか 企画協力 お話 遠藤徹

問合せ Fax 03-5269-2011(伶楽舎)

新聞・新刊など

○博多祇園山笠に蘭陵王登場

7月10日、博多の祇園山笠の昇き山の1つ

には大きな博多人形の蘭陵王が乗っている。

人形の裏側(見送り)は、火焰太鼓。

写真・情報提供 福岡の毛利信行氏



○8月12日～16日 日本経済新聞 夕刊

「人間発見 雅楽の心を受継いで 宮内庁

式部職業部首席楽長 大窪永夫さん」5日

連続で掲載。

○8月21日 日本経済新聞 朝刊 大阪版

千年のヨシ原に波風

○『舞楽面陵王』舞楽面の特別講座

日本仮面文化研究所所長 梁取弘美著

本物の舞楽面陵王のすばらしさを知って欲

しいと、面の製作者が自ら製作技術を含め

て解説した書。舞楽面の理解が深まります。

雅楽協議会のホームページから無料で読め

ます。http://gagaku-kyouikai.com/mask/  
印刷希望の方は、ご連絡ください。

○鶴殿ヨシ原の観覧会

11月17日、12月1日、1月19日

問合せ Tel 090-3991-1646

鶴殿ヨシ原研究所

芝祐晴先生へ質問を

芝先生へ笛に関するご質問をメールかFaxでお

寄せください。お待ちしています。

「雅楽だより」

購読・継続 申し込み方法

購読料一年(4回発行)千五百円。(送料込)

郵便振込用紙に住所、氏名をご記入のうえ、

「口座番号」00140-5-614032

「加入者名」雅楽協議会

までお振込みください。ご記入頂いた住所に

「雅楽だより」を送らせて頂きます。数年分

まとめての振込みも受け付けています。

「雅楽だより」第35号

2013(平成25)年10月1日

発行 雅楽協議会

編集 雅楽協議会「雅楽だより」編集担当

連絡先 〒188-0013

東京都西東京市向台町6-12-6(鈴木治夫

TEL:042-451-8898

FAX:042-451-8897

メール gagakudayori@yahoo.co.jp

http://www.gagaku-kyouikai.com/

印刷 秀英堂紙工印刷株式会社

雅楽の楽器・譜面 ほか

(株) 武蔵野楽器

〒114-0003 東京都北区豊島1-5-6

電話 03-59902-7281

Fax 03-59902-7282